

知床において新規に実施を検討している調査について

(1) 羅臼湖における植生・エゾシカ採食圧調査

目的：知床半島では希少な湿原植生である羅臼湖およびその周辺において、植生とエゾシカの各種痕跡を把握する。環境省にて実施している広域採食圧調査の補足として位置付け、長期的に追跡調査を実施することを想定。

調査地：羅臼湖周辺

調査方法：羅臼湖およびその周辺の湿原植生において、固定帯状区を5箇所程度設置し、植生調査を実施するとともに、エゾシカの各種痕跡を調査する。

(2) ルサ相泊地区における植生・エゾシカ採食圧調査

目的：ルサ相泊地区およびその周辺において、エゾシカ個体数の変化に伴う植生への影響を把握するために適切なモニタリングサイトの提案を行う。ルサ相泊地区での個体数調整の効果を把握するための短期的なモニタリングと位置付け、1年毎の調査を実施することを想定。

調査地：ルサ相泊地区

調査方法：既存の植生調査および植生図等を活用するとともに、現地において植生に関する調査を実施し、ルサ相泊地区の植生の概況を把握するとともに、モニタリングサイトの適切な設置箇所について提案を行う。

(3) 硫黄山におけるシレットコスミレ調査

目的：シレットコスミレの食害はウサギによる可能性も否定できないことから、硫黄山およびその周辺において、エゾシカ、ウサギ等によるシレットコスミレの食害状況を把握する。

調査地：硫黄山周辺

調査方法：硫黄山において目視及びカメラ等による定点観察を数日間行い、シレットコスミレの採食状況を調査する。

(4) 昆虫のインベントリ調査

目的：エゾシカの増加とそれに伴う植生への影響により、昆虫類の分布の変化が指摘されており、昆虫類の分布の現状および過去からの変化を把握する。

調査地：半島全域

調査方法：既存の知見の整理を行うとともに現地での調査を実施し、昆虫類の分布の現状および過去からの変化をとりまとめる。

その他、広域ヘリセンサス調査および知床岬における夏場のエゾシカ利用状況の調査、希少猛禽類への影響のモニタリングなどの実施を検討している。